

# 持続可能な 地域づくり

---

2024年9月11日

伊豆市CIO補佐官

三島信用金庫DXアドバイザー

中村祥子



# 自己紹介



## 中村 祥子 (なかむらしょうこ)

2000年4月 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社(現 株式会社日立ソリューションズ)に入社。ソフトウェア開発の品質保証、プロジェクトマネージャー、システム導入コンサルタントを歴任。

2019年4月 日本マイクロソフト株式会社に入社。シニアコンサルタント、カスタマーサクセスマネージャーを歴任し、お客様のDXを伴走支援。

2022年11月 株式会社INDUSTRIAL-Xに参画。執行役員Chief Acceleration Officerとして、よりお客様のビジネス戦略に即した変革をお客様と共に推進。

現在は、伊豆市CIO補佐官として地方自治体DX、中小企業デジタル化の伴走支援、およびベンチャー企業のカスタマーサクセスチーム立上げのアドバイザーを実施。

「人生一度きり」をモットーに、組織に縛られることなく社内外でさまざまなことにチャレンジ。

2022年2月より二拠点生活(東京⇄修善寺)にチャレンジ！  
そして、2022年7月より伊豆市CIO補佐官にもチャレンジ！！



# レジリエントとは

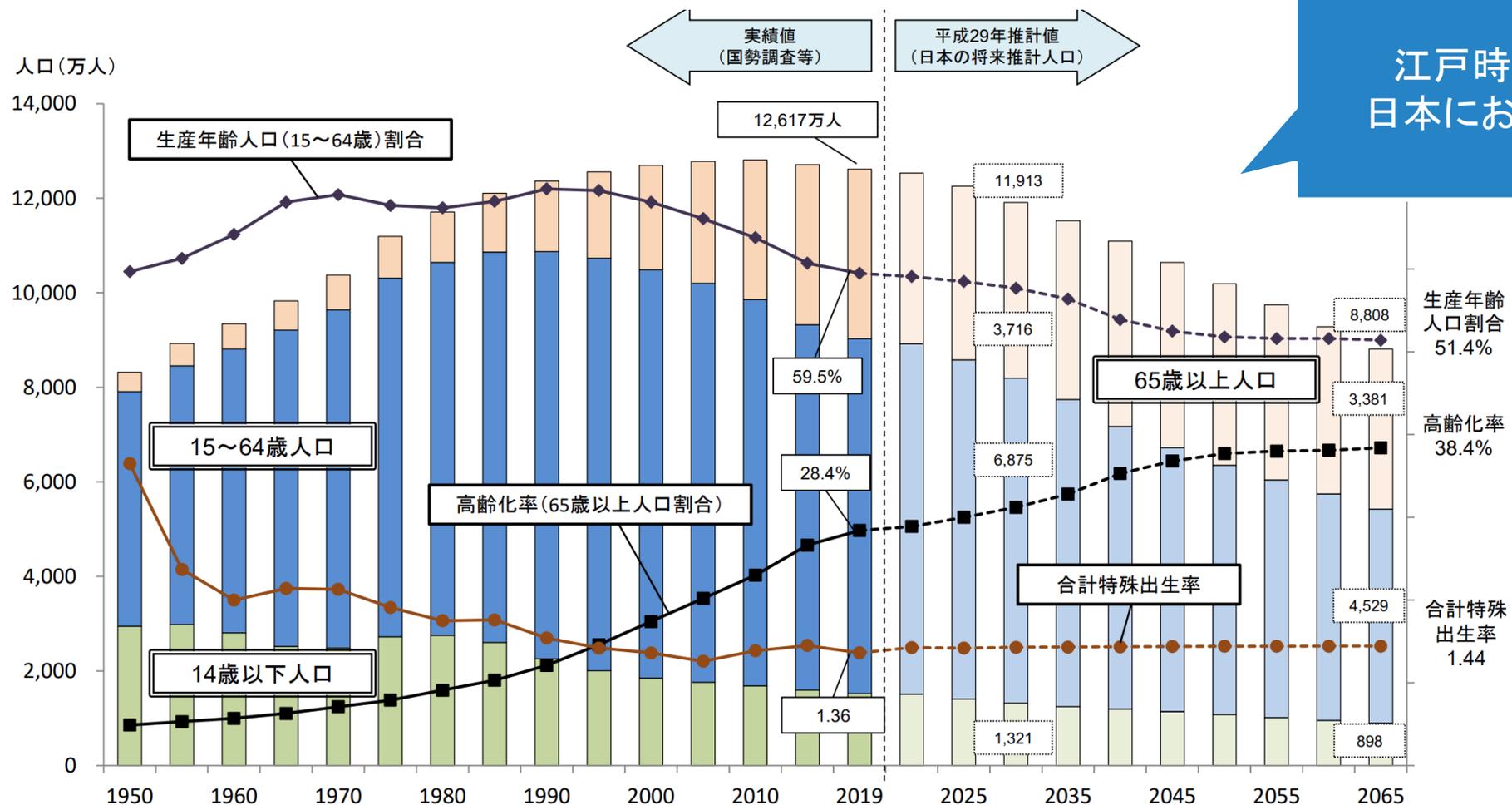
---

## レジリエント (resilient)

英語で「弾力性がある」「柔軟性がある」「回復力がある」などの意味を持つ言葉。

ビジネス分野では、困難な状況に対処するしなやかさや回復力。

# レジリエントが必要な理由



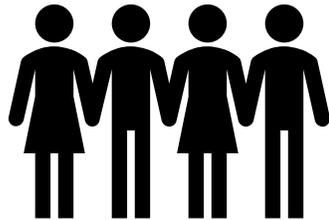
江戸時代から遡って考えても  
日本において人口減少は初めて

(出所) 2019年までの人口は総務省「人口推計」(各年10月1日現在)、高齢化率および生産年齢人口割合は、2019年は総務省「人口推計」、それ以外は総務省「国勢調査」  
2019年までの合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、  
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計):出生中位・死亡中位推計」

# レジリエントを実現するために

---

今までの社会



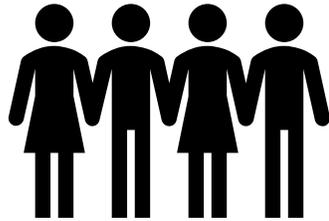
公による支援

他県・他市でチャレンジしている  
施策の導入

他地域でもまだ実施されていない  
最新の仕掛け・仕組みの導入

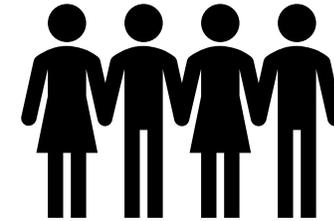
# 持続可能な社会を目指して

今までの社会



公による支援

これからの社会

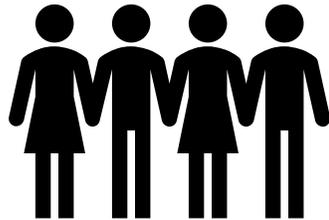


不足部分

公による支援

# 身の丈にあった「公の支援」

これからの社会



不足部分

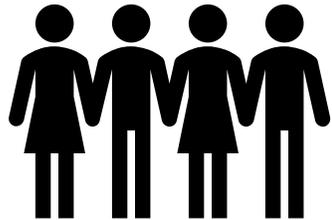
公による支援

自分たちの都市において  
その仕組み・仕掛けは適切  
なのか？

（費用、技術、リソースなど）

# 不足部分を補うために

これからの社会



不足部分

公による支援

“ やめる “ or “ 託す “

- 本当に無くす : 断捨離
- 人に託す : 業務委託
- 技術に託す : AI, RPA

# 伊豆市について

2004年の4月1日に、伊豆半島中北部の4町、田方郡修善寺町・土肥町・天城湯ヶ島町・中伊豆町が合併し伊豆市が発足。

県の面積の4.1%を占め、静岡県内4番目に広い基礎自治体。

広大な面積を有しているが、深山な伊豆半島に位置するため、市域の67%は山林で占められており、可住地面積は17.3%程で、人家の多くは狩野川とその支流の脇のわずかな平地に集まる。

主な産業として、観光・農業・漁業と続く。

火山との関係が深い伊豆半島であるため温泉が豊か。

市の発足前から人口の減少は進んでおり、発足時(2004年)の人口は38,108人であったが、2024年8月時点で26,322人。



# 伊豆市の取組み

---

伊豆市(公)が取り組むことは、「市でないとできないこと」に集中。

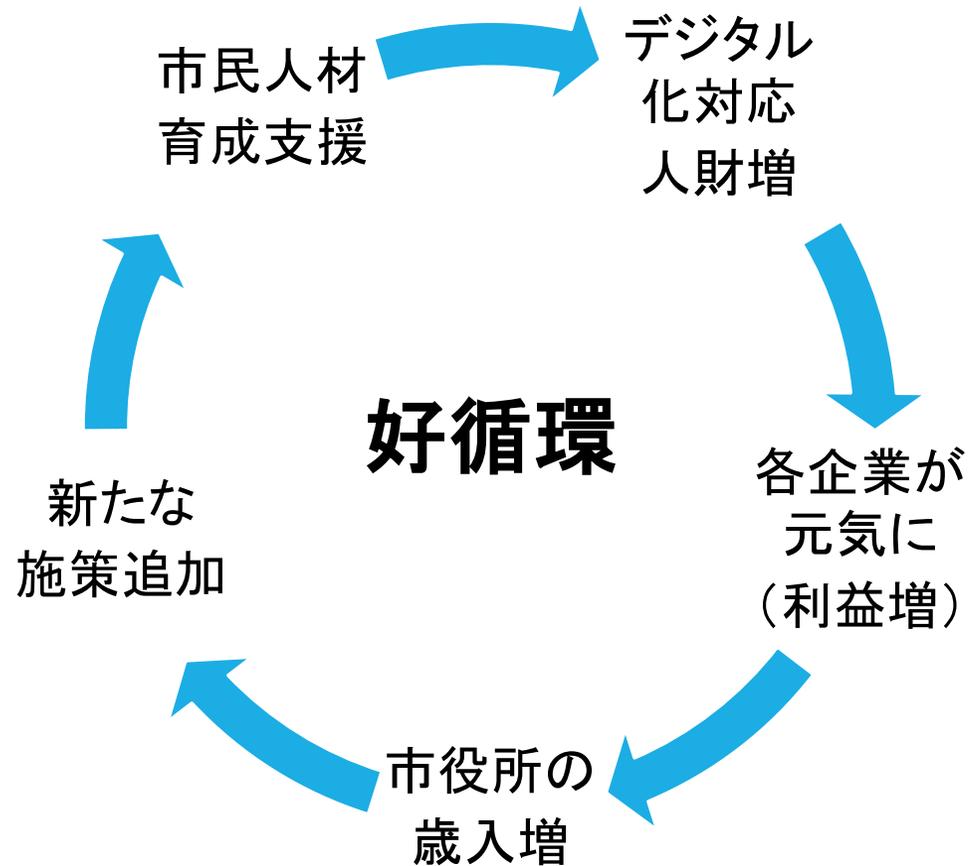
伊豆市が取り組まないことについては、市民が実現できるように支援を実施。

## 【直近の伊豆市(公)の取組み】

- 観光防災拠点「テラッセ オレンジ トイ」設置
- 伊豆市デジタルよろず相談会
- 市民勉強会(ハッカソンin伊豆など)
- ノーコード宣言シティへの参画



# なぜ実施するのか



今後も市民が増加していくことは期待薄。

市民の人口に左右されずに、市民サービスを維持していくためには、市民・市内の事業者が元気になっていくことが必須。

身の丈に合った好循環を生み出す仕掛け・仕組みづくりが重要！

# 実施していく上での課題

---

現状維持の意識が強い！

➡ 大きな変化をして今の関係が変わるなら、変わらないことを選択。



自分が変わらなくても、周りが変化していく。

➡ 下りのエスカレーターに乗っているようなもの。

変化にチャレンジして、生活レベルの現状維持が可能。

# 持続可能な地域のために

---

流行りや最先端のことを取り入れるよりも、続けられることを

